

# メタボリックシンドローム対策 総合戦略事業の取り組み

—千葉県モデルについて—

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

澤田 いつ子

1

〈参考〉メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)対策総合戦略事業(平成18年度)の概要

厚生労働省	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○都道府県健康・栄養調査マニュアルの策定</li> <li>○都道府県健康増進計画改定ガイドライン(暫定版)の策定</li> <li>○保健師・管理栄養士等の資質向上に向けた研修ガイドラインの策定</li> <li>○保健師・管理栄養士等のリーダー研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診・保健指導プログラム(暫定版)の策定(委託基準を含む)</li> <li>○健診等結果の電子的管理のための標準仕様の策定</li> </ul>

都道府県	
<p>&lt;補助対象事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業企画・評価委員会(仮称)の設置</li> <li>○事業実施計画策定及び評価             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画の策定(対象者、事業規模、実施体制など)</li> <li>・都道府県健康増進計画改定ガイドライン(暫定版)の評価</li> <li>・健診・保健指導プログラム(暫定版)の評価(委託基準を含む)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;当該補助事業と連動して地方交付税措置(ヘルスアッププラン)を活用して県で実施する事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保健師・管理栄養士等に対する研修の実施</li> <li>○都道府県健康・栄養調査の実施</li> <li>○都道府県健康増進計画の改定(地域・職域連携推進協議会)</li> </ul>	<p>&lt;その他補助事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域・職域連携推進協議会の設置・運営</li> <li>○研修計画の策定</li> </ul>

医療保険者
<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診・保健指導プログラム(暫定版)及び健診・保健指導の委託基準(暫定版)に基づき、40歳以上75歳未満の被保険者及び被扶養者に対するメタボリックシンドロームに着目した健診及び保健指導を実施</li> </ul>
<p>&lt;関係する補助事業等の活用&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①メタボリックシンドロームに着目した健診・保健指導の実施(アウトソーシングを含む)</li> <li>②結果の取りまとめ、保険者協議会及び都道府県への報告</li> <li>③保険者協議会を通じた他保険者サービス利用に関するガイドライン案の作成・実施</li> </ol>

市町村
<ul style="list-style-type: none"> <li>○メタボリックシンドロームの概念の普及及び健康日本21の運動、栄養、喫煙での代表目標の達成に向けた重点的・効果的なポピュレーションアプローチの実施</li> </ul>
<p>&lt;補助対象事業&gt;</p> <p>創意工夫を凝らした先駆的事業の実施</p> <p>※可能な限り医療保険者が実施する健診・保健指導と有効に組み合わせる実施</p>

2

# 実施計画 の概要

## 背景・課題

- メタボリックシンドロームの有病者・予備群の増加
- これまでの健診・保健指導  
目的（疾病の早期発見・治療及び生活習慣の改善・保健指導）についての共通認識が不明確
- 健診と保健指導の連続性  
健診結果を受診者自らの健康増進に活用するという、制度目的の不達成
- 被扶養者等の健診受診率が低調  
真にサービスが必要とする者の中に、サービスを受けていない者が存在

今後の方向

- メタボリックシンドロームの概念を導入した対策の推進  
内臓脂肪型肥満に着目した健診・保健指導等のサービスの提供
- 健診・保健指導の重点化・効率化  
保健指導の徹底を目指して生活習慣の改善を支援するサービス全体を体系化
- サービスを必要とする者を効率的に抽出し、確実にサービスを提供  
生活習慣改善の必要性を高い者を効率的に抽出し、重点的にサービスを提供
- メタボリックシンドロームの有病者・予備群の減少 → 医療費の適正化

千葉県モデルの実施

## 計画の目標

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための健診・保健指導の確立

## 計画の骨子

### 1 事業企画・評価委員会の設置(県)

- ①メタボリックシンドローム対策に重点をおいた効果的な健診・保健指導体制の整備に向けた事業の企画・評価
- ②効果的・効率的な健診・保健指導を検証するためのモデル実施機関の選定

### 2 モデル事業実施試験の実施(市町村・企業組合・県は支援)

- ①健診の実施
- ②保健指導対象者の選定・階層化の設定  
・健診結果を基に保健指導対象者の選定・階層化の設定  
・保健指導の階層化 ⇒ 「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」
- ③保健指導の実施 ⇒ 国又は県のプログラムの活用
- ④ポピュレーションアプローチの実施

### 3 保健指導従事者に対する研修の実施(県)

- ・市町村(国保・衛生部門等)の保健師・管理栄養士等
- ・健診・保健指導の事業企画・評価、保健指導の知識・技術

地域・職域連携協議会

連携

連携

保険者協議会

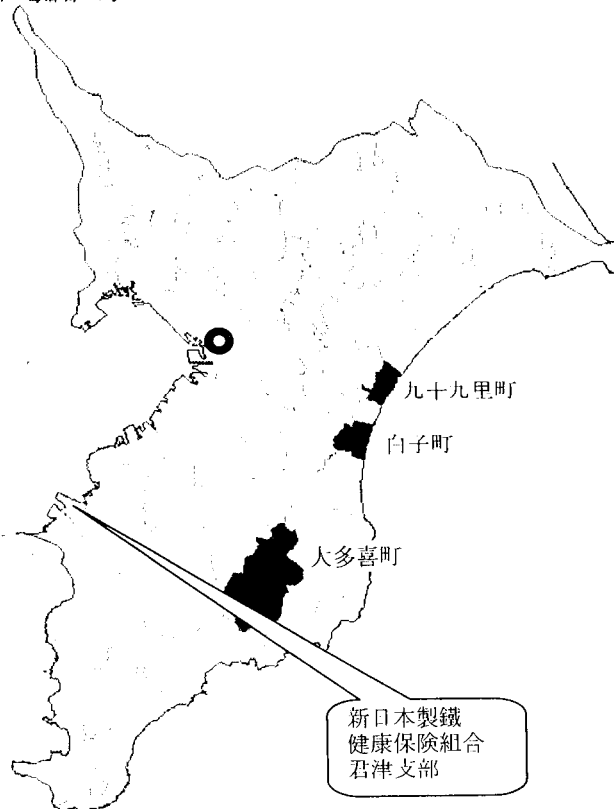
反映

(健康ちば21)

3

国土地理院承認 千14認地 第149号

# 千葉県モデル実施機関



千葉県

4



# 健診・保健指導の実際

— 健 診 —

5

## 健診結果

	3町計	健保組合	計
対象者数	6,408	995	7,403
実施者数	3,233	251	3,484
(実施率:%)	50.5	25.2	47.1

- 注) 1. 「第3回保険者による健診・保健指導の円滑な実施方策に関する検討会」の⑦特定保健指導の実施者の供給見通しによる試算では特定健診の受診率は60%と仮定している。
2. 健保組合は、年2回健診を実施しており、そのうちの1回分のみモデル実施のため、実施率者数、実施率は二分の一である。

6

## 保健指導の階層化の結果

	3町計	健保組合	計
実施者数	3, 233	251	3, 484
情報提供	1, 373	139	1, 512
(割合:%)	42. 5	55. 4	43. 4
動機付け支援	1, 068	76	1, 144
(割合:%)	33. 0	30. 3	32. 8
積極的支援	792	36	828
(割合:%)	24. 5	14. 3	23. 8

注) 「第3回保険者による健診・保健指導の円滑な実施方策に関する検討会」の

⑦特定保健指導の実施者の供給見通しによる試算では、健診受診者数の17.8%が動機付け支援、16.5%が積極的支援の対象者になると仮定している。

7

## 事前準備から階層化までの 問題点

# 健診から階層化までの問題点

## 1. 周知

- モデル事業を実施することや、平成20年度からの体制(保健指導の充実)に関して、住民への周知が行き届かなかったことから、住民の理解を得ることが難しく、対応が難しかった。
- 「健診は休めても結果説明会は休めない」
- 「去年は郵送してもらえたのに、何でわざわざとりに行かなければならないのか」と言う声が窓口に多く寄せられ、結果的に動機付けを個別面接で実施する予定が郵送通知となった。

9

# 健診から階層化までの問題点

## 2. 質問票

1. 基本健診の問診、メタボリックシンドロームの問診、生活機能評価の問診が重複したため受診者の混乱を招いた
2. 質問項目に回答しにくい質問がある  
「同世代の同性と比較して歩く速度が速い」
  - ・比較したことがないのでわかりづらい
  - ・同世代の年齢幅はどの位か
  - ・速度が速いとは、どの程度の速さか

10

# 健診から階層化までの問題点

## 3. 腹囲測定

### 1. 測定手技の統一が図りにくい

国立健康・栄養研究所、国民健康栄養調査プロジェクト、健康栄養調査に有用なツール集、「国民栄養調査身体状況調査手技のトレーニング(腹囲測定編)」

- ・飲食後2時間経過後
  - ・へその高さで
  - ・息をはいた終わりに
  - ・へその位置が下に移動しているときは肋骨の下縁と前上腸骨棘の midpoint の高さで測定
- 研修が重要

### 2. 測定を拒否する者がいる

- ・インフォームドコンセント
- ・診察場面
- ・ブース確保

11



# 情報提供

※現在は健診として整理

- ・ 健診結果票の送付  
健診結果の説明  
健康相談の案内  
健康づくり資源の紹介

- ・ 結果通知を講演会で返還
- ・ 要医療者のみ個別面接
- ・ 健診時に結果説明

## <昨年と異なるところ>

- 検査結果の説明と経年変化を追加
- 健康づくり資源にメタボリックシンドロームの啓発を導入したリーフレットを作成・配布
- 健診結果に個別に一言コメントを追加
- 全町民対象のメタボリックシンドローム講演会に併せて、健診結果の概要説明

13

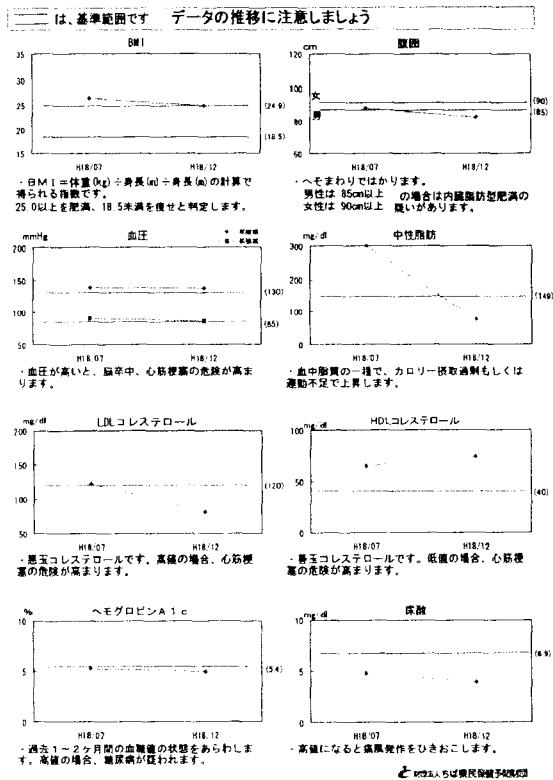
## 1. 経年変化を入れた健診結果表の作成

メタボリックシンドローム検診 結果表

〒283-1-  
九十九里町

受診番号 57 受診日 平成18年12月2日  
年齢 61歳 生年月日 昭和29年3月12日  
性別 女 個人番号 262915-2  
九十九里町 健康福祉課 健康指導係  
0475(70)3182

検査項目	基準値	検査結果	前回	前々回
受診日		平成18年12月2日	平成18年7月25日	
受診番号		57	2030	
身長 (cm)		148.7	148.4	
体重 (kg)		54.8	58.2	
BMI	18.5~24.9	24.8	26.4	
腹囲 (cm)	男性 85未満 女性 90未満	82.5	88.0	
血圧 (mmHg)	収縮期129以下 拡張期84以下	137 / 85	138 / 90	
GOT (IU/l)	40以下		30	
GPT (IU/l)	45以下		31	
γ-GTP (IU/l)	80以下		32	
総ビリルビン (mg/dl)	120~219		242	
LDLコレステロール (mg/dl)	119以下	81	122	
HDLコレステロール (mg/dl)	40以上	74	65	
中性脂肪 (mg/dl)	149以下	74	393	
血糖(空腹) (mg/dl)	109以下	91		
血糖(随時) (mg/dl)	139以下		115	
HbA1c (%)	5.4以下	4.9	5.2	
尿酸 (mg/dl)	6.9以下	3.9	4.8	
クレアチニン (mg/dl)	0.61~1.04(0.47~0.79)		0.71	
尿蛋白	(-)		(-)	
尿糖	(-)		(-)	
尿潜血	(-)		(-)	



14







## 動機付け支援

### <目的>

対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができるように支援する

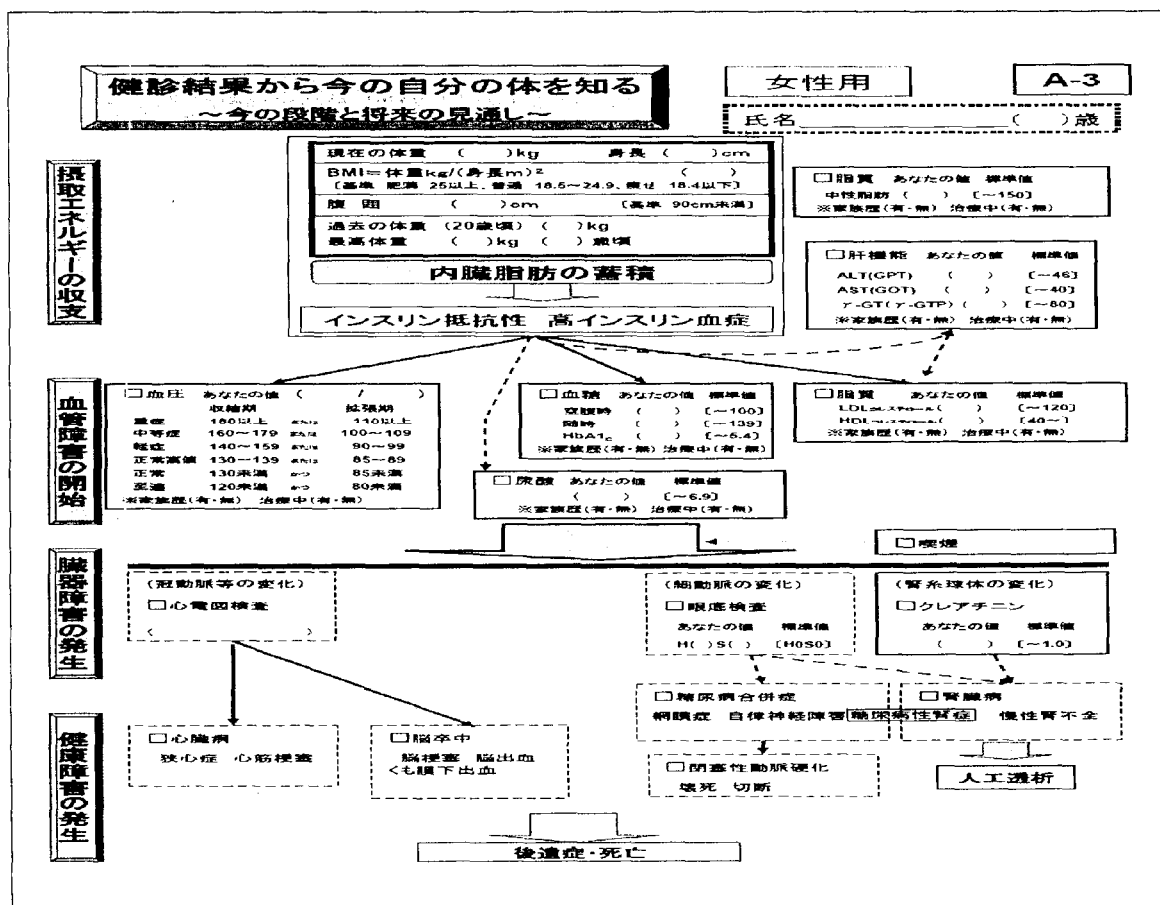
### <初回時支援方法>

- ・ 個別支援 (30分～75分以上／人)
- ・ グループ支援(80分～90分以上／回)

# 支援内容

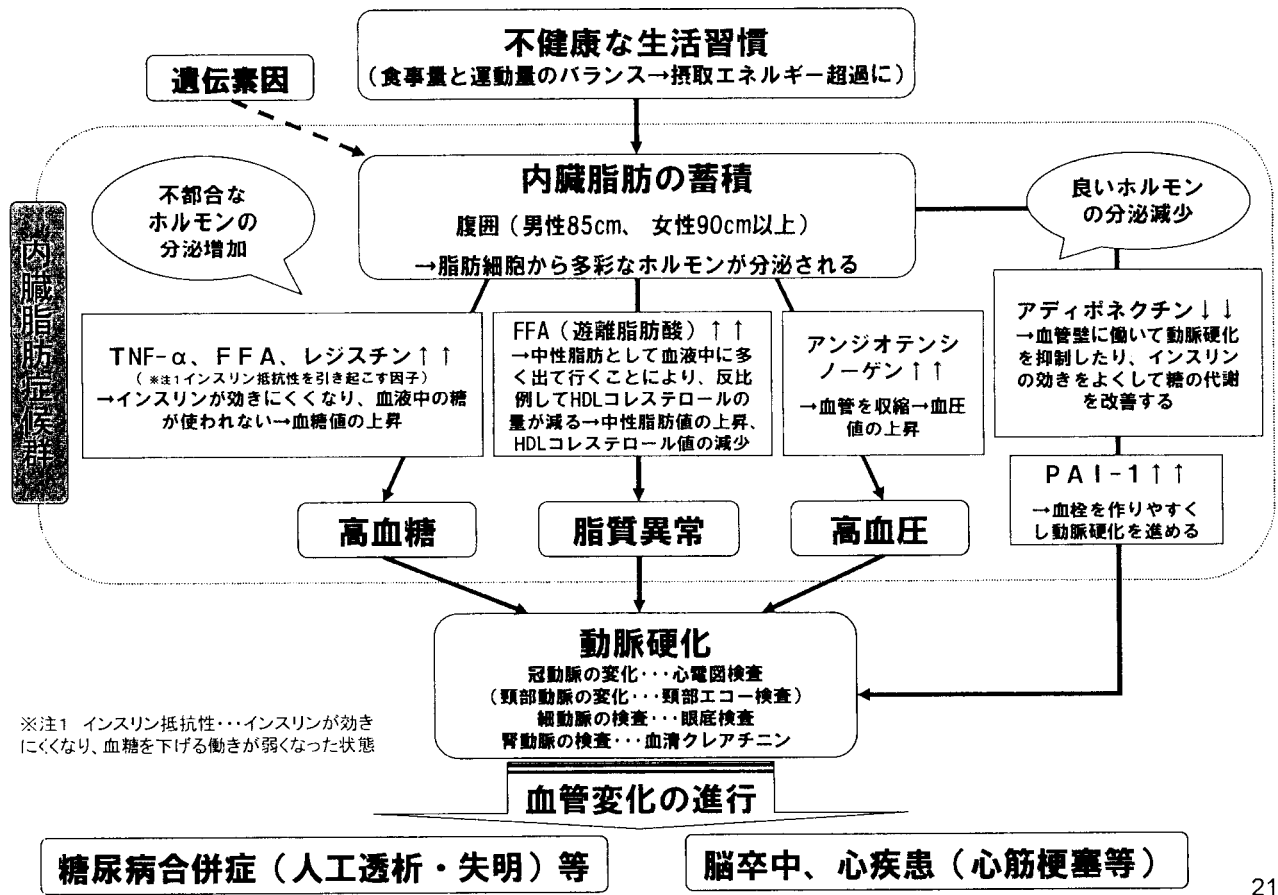
- 健診結果と生活習慣の関係を理解
- メタボリックシンドローム、生活習慣病の知識
- 生活改善の必要性(メリット・デメリット)
- 行動目標の設定
- 栄養・運動等の実践指導
- 必要な社会資源の紹介
- 評価時期の設定

19



20

# メタボリックシンドロームの概念はなぜ重要か



参考資料: 今後の生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)平成17年9月15日 厚生科学審議会健康増進委員会

